※令和３年度以前入学生用

学校番号	1004

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	表現メディアの編集と表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実技を中心とした授業であるため、ＬＡＮ教室で学習を行います。
この授業では、ディジタルカメラや、ビデオカメラ、ペンタブレット等のコンピュータ以外の情報機器もたくさん使用して作品制作を行います。様々な情報機器の使い方や特性を理解し、作品を作ることが中心となります。具体的には、画像編集ソフトを使用したポスターやＣＤジャケット等を作る「グラフィックデザイン」、ビデオカメラ等を使用した短編ムービー等の制作を行う「映像制作」を行います。
様々な作品制作の学習を通して創造的な思考力や表現力を伸ばしましょう。

２　学習の到達目標

様々な情報機器やソフトの使い方を理解し、それらを適切に活用することができる。
写真や、イラスト、動画等を主体的に制作することができる。
制作物に対する知的財産権や著作権などの権利を理解することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・様々な情報機器を用いた表現方法に関心を持ち、活用しようとする意欲・態度 ・主体的に作品制作を行おうとする態度 ・制作物が持つ権利について関心を持ち、理解しようとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価及び改善しようとする態度	・様々な情報機器やソフトを使用し、主体的に表現できる力 ・目的に応じた情報機器やソフトを選び、活用できる力 ・自らの表現を振り返り、改善できる力	・様々な情報機器やソフトを使用し、作品制作ができる技能	・様々な情報機器の使い方や特性の理解 ・様々なソフトを使った編集技法の理解 ・制作物に発生する法律や権利についての理解
評価方法	学習状況の観察 実習作品 ワークシートの記述 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習作品 ワークシートの記述 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習作品 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	イラスト制作	○イラスト作成ソフト（Illustrator）の基本操作 ・ペンツール ・グラデーション ・トレース　　等 ○イラスト制作	○ ○	 ○	○ ○	○	a:イラスト作成ソフトを使用した作品制作に興味を持ち、積極的に取り組もうとしている。 b:イラスト作成ソフトを使用し、主体的に作品を作成することができる。 c: イラスト作成ソフトを使用し、様々なイラストを作成することの出来る技術を身につけている。 d:イラストの特性や、イラスト作成ソフトの作成方法や編集方法を理解している。	授業観察 実習作品
1	制作物に発生する権利	○知的財産権 ・著作権 ・著作物の利用許諾 ・著作物の二次利用	○			○	a:著作物に発生する権利について興味・関心を持っている。 b:著作物を扱う際は、法律に違反していないか判断する力がある。 c:著作物を扱う際は、知的財産権等の法律に十分配慮し取り扱うことが出来る。 d:著作者の権利や法律を理解している。 十分配慮し、情報の収集や発信を行うことができる判断力	授業観察 ワークシート
2	画像編集	○画像編集作ソフト（Photoshop）の基本操作 ・明るさとコントラスト ・カラー補正 ・合成　　等 ○ディジタルカメラの使用した写真撮影方法 ○静止画作品制作	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	○ ○	a:画像編集ソフトを使用した作品制作に興味を持ち、積極的に取り組もうとしている。 b:写真撮影や画像編集作成ソフトを通して主体的に表現することが出来る。 c:画像編集ソフトを使用して様々な静止画を加工する技術を身につけている。 d:画像編集ソフトやディジタルカメラの特性や使い方を理解している。	授業観察 実習作品

※令和３年度以前入学生用

2	動画編集	○動画編集ソフト（Video Studio）の基本操作 ・エフェクト ・タイトル作成 ・カラー補正　　等 ○ビデオカメラを使った動画撮影	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:動画撮影・編集に興味を持ち、積極的に取り組もうとしている。 b:動画撮影・編集を通して主体的に表現することが出来る。 c:ビデオカメラや動画編集ソフトによる撮影、編集技術を身につけている。 d:画像編集ソフトやディジタルカメラの特性や使い方を理解している。	授業観察 実習作品
3	作品制作	○様々な情報機器を使用した作品制作 ○作品発表・相互評価	○ ○	○ ○	○	○	a:作品制作や発表を行う意欲・態度がある。 b:目的に応じた機器やソフトウェアを選択し、主体的に作品を創造できる思考力、判断力、表現力がある。 c:様々な情報機器やソフトを使用し、作品制作が出来る技能がある。 d:作品の作成手順や各情報機器の特性を理解し、使用できる。	授業観察 実習作品 発表資料 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。